



災害に対して、人は普段から訓練や備蓄をしています。では、ペットの命を守るための対策をしていますか？
今回は最も飼われている犬と猫について話していきます。

・はじめに

大きな災害を経験したペットたちは、「吠え続ける」「人を噛んでしまう」「隠れてしまう」など、それまでにみられなかった習慣が現れることがあります。人に迷惑をかけたり、避難所に避難ができず、結果、飼い主さんと離れ離れになったりする可能性があります。このようなことを避けるためにも対策をしましょう。

飼い主が今やるべきこと

- ①健康面のチェックはしっかりとしておくこと。
- ②しつけ、ケージにならす訓練などをしっかりとしておくこと。
- ③住宅の災害対策や、フード、トイレシートなどのペットの避難セットの準備
- ④事前の避難所確認（ペットとともに避難できる避難所もあります）

もし被災してしまったら？

災害時にはペットを落ち着かせ、迷子にさせないように注意して、ペットと一緒に避難を。

※自治体の避難には従う必要があります。ペットが理由で避難しないことは、自分の安全に関わりますので、ペットと一緒に同行避難をしましょう。

東日本大震災の事例

- ・日中、仕事をしている飼い主さんが多く、ともに避難ができなかった。
- ・避難区域に指定され、ペットを放置して避難せざるを得ない状況だった。

防災グッズのPOINT

①非常用バッグ・ペットキャリー



避難時でも運びやすくなっているため素早く共に避難することができます。バッグとキャリーは一緒に置いておきましょう。

②名札(マイクロチップ)

災害が起こり、ペットが逃げ出した時でも名札・マイクロチップの情報で飼い主さんのもとに帰ってこれるようにしておきましょう。

非常用バッグの中身

- ・7日分以上のフードと水
- ・水飲みボトル
- ・リード、首輪
- ・ペットシート
- ・ブラシ
- ・薬
- ・記録カード
- ・トイレ用品(砂など)

